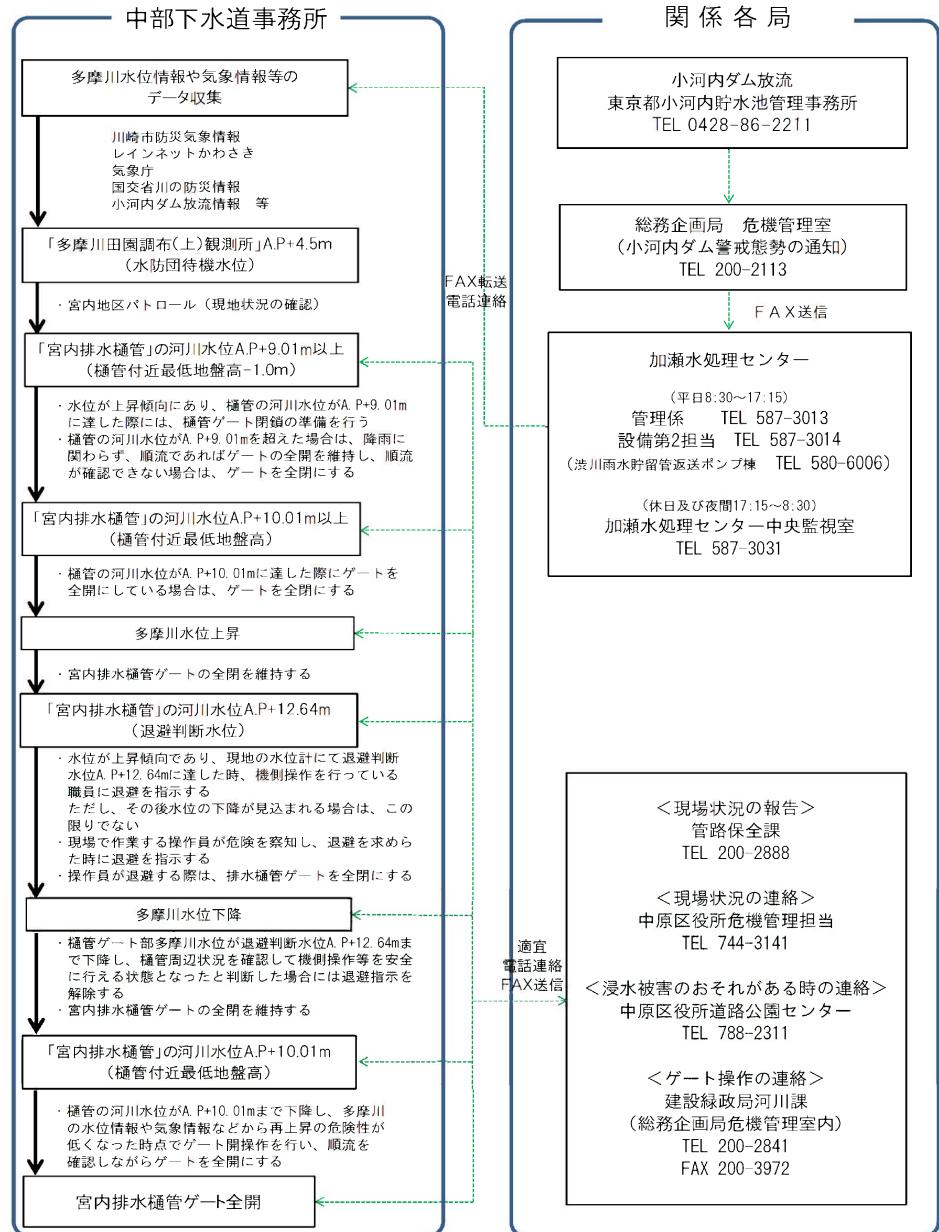


操作手順の概要（宮内排水樋管）

<p>① 河川水位が樋管ゲート付近で最低となる地盤のマンホール高（以降、付近最低地盤高と表記。宮内排水樋管では10.01m）から河川水位が-1.0mである9.01mに達するまでの間は、ゲートを全開にする。</p>	
<p>② 外水（河川）位が上昇し、河川水位が付近最低地盤高から-1.0mに達した際は、樋管ゲート閉鎖を準備し、順流が確認できなければ、ゲートを全閉にする。（宮内排水樋管の河川水位9.01m）</p>	
<p>③ さらに外水（河川）位が上昇し、付近最低地盤高に達した際に樋管ゲートを全開にしている場合は、ゲートにフラップ機構が付いていることから、ゲートを全閉にする。</p>	
<p>④ 外水（河川）位が付近最低地盤高を超えている状況において、ゲートを開けることによる逆流の発生を回避するため、全閉を維持する。</p>	
<p>⑤ 外水（河川）位が下降し、付近最低地盤高を下回った場合、順流を確認しながら、ゲートを全開にする。</p>	

宮内排水樋管ゲート操作手順＜令和2年7月1日適用＞



※ 河川管理者からゲート操作の指示があった場合は、その指示により操作を行う。